

法学委員会社会と教育における LGBTI の権利保障分科会
第 25 期・第 6 回議事録

日時：2022（令和 4）年 8 月 5 日（金）10:30-12:40

場所：オンライン（Zoom ミーティング）

出席者（敬称略、50 音順）：伊藤、緒方、隠岐、紙谷、佐藤、島岡、鈴木、高橋、谷口、内藤、二宮、星乃、三浦、三成、南野、矢野、吉田（道）、來田

審議事項

1. 前回議事録案確認

第 5 回分科会（2022（令和 4）年 6 月 6 日）の議事録案について委員長から説明の上、確認された。

2. シンポジウム開催について

(1) ジェンダー統計と性別表記（仮題）

- ・ 11 月頃のシンポジウム開催についてプログラム案をもとに提案と説明があった。
- ・ 登壇者・討論者について、シンポジウムのテーマ設定の範囲を含めて、依頼対象者について意見交換した。
- ・ 開催方式について、テーマの性質と現状を踏まえて検討すべきことが提示され、対面開催やオンライン開催とする場合の形式や条件、参加者の利便性や公開性の原則との兼ね合いについて議論があった。結果、ウェビナー形式のオンライン開催（事前登録制、設定方法も要検討）とすることが合意された。
- ・ シンポジウムの共催、後援の候補および打診担当者、広報協力先の候補を検討した。

(2) 同性婚訴訟と法制度（仮題）

- ・ シンポジウムについて、同性婚を積極的に求めていく方向（社会の動きを後押しする）と同性婚を含めた多様なあり方を検討する方向（学術としての幅広い問題提起）の 2 方向で検討を進めてきたことが報告された。
- ・ 両者をあわせる形で、婚姻平等を中心としつつ、関係する問題やテーマ（家族形成の保障、他の形式の選択肢）を含めて提示していく方向で合意された。
- ・ シンポジウムは『ジェンダー法研究』の特集号を参考に登壇依頼を検討し、時間の関係から対面形式（可能な範囲でハイブリッド形式も検討）で進めることで合意された。

- ・1月・2月開催を目処に詳細をワーキンググループ内で検討することとした。

(3) DSDs とスポーツ（仮題）

- ・前回議事内容はスポーツについてはトランスジェンダーとは分けて考える必要がある、という趣旨のものであることが確認された。
- ・今期中にシンポジウムを開催する方向で、テーマや内容の詳細については引き続きワーキンググループ内で検討することが確認された。

(4) LGBT 基本法

- ・札幌冬季オリンピック開催（2030）を念頭に、東京オリンピック（2021）時にLGBT 基本法の整備が頓挫したことを踏まえて、差別禁止法制のあり方について引き続きワーキンググループ内で検討することが確認された。

3. その他

- ・「見解」の発出には、一定の過程（勉強会、シンポジウム、市民対話などの実績）が必要であるため、今期は実績作りをメインとして可能な範囲で進めていくことで合意された。
- ・その際、次期以降の活動を円滑に進めていくために何らかの形で記録（文書）を残していくことの必要性が指摘された。
- ・次回分科会は11月頃を目処に調整する。

以上